

「2019年に太陽光発電の高値買取が満了。」

2019年の11月で、太陽光発電の買い取り制度が10年間の満了を迎えるため、売電契約が終了する設備が続々と来ます。現状では契約満了後の設備に対する対応策が全く決まっています。2020年に向けてZEHの推進を約束している施工店の立場から、期間満了対策とZEHの推進を行わなければならないという、ジレンマを抱えている施工店も多いと思われます。

実際に弊社もまた、地球温暖化対策に共鳴しZEHを希望している建て主様に、10年後の対策が決まっている現状で、ほんとうにZEHを勧めるべきか途惑う場合もありました。

下表・1は、太陽光発電の買い取り制度が始まった2009年から2019年までの買い取り価格の推移を表しています。住宅用10kW未満の太陽光発電は1992年の「余剰電力買

■太陽光発電売電価格の推移 (単位:円/kWh時) 表-1

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
10kW以上	24	24	24	40	36	32	29	24	24	21	未定
10kW未満	48	48	42	42	38	37	33	31	28	26	24

い取り制度」と政府の設置補助金で、我が国の太陽光発電導入量が2000年初頭まで、世界をリードし、我が国の環境大国の名を高めました。ただ買い取り価格が「家庭の電気料と同じ1kW/時24円」だったため、それ以上の導入量を伸ばす力はありませんでした。

当時、ヨーロッパの環境破壊は現在の中国の様に深刻で酸性雨が湖沼を汚染し、この環境問題を解消する手段としてドイツでは、FIT(固定価格買取)制度で再生可能エネルギーの買い取り価格を1kW/時80円という破格

の値段で買い取り、ドイツは一気に世界一の環境大国になりました。

その後、FITはフランス・スペインなど欧州を中心に広がり(再生可能エネルギー)を増やす標準的な政策になりました。我が国でも2009年から10kWの太陽光発電の家庭用買い取り制度が開始され、2012年から20kW以上の産業用も開始されて、本格的なFITがスタートしました。

我が国の本年4月末時点のFITに関連する再生可能エネルギーの導入状況は、住宅用と非住宅用(大規模)を合わせて太陽光発電が3300kW以上と圧倒的に大きく、その他の風力発電は約3000kW、中小水力は38kW、地熱は166kW、バイオマスは166kWと世界と比較すると太陽光発電だけの偏った拡大が問題になっています。

■太陽光発電以外の自然エネルギー買い取り価格例 (単位:円/kWh時) 表-2

自然エネルギーの種類/年度	2012	13	14	15	16	買い取り期間
風力(20kW以上)			22円			20年
地熱(1万5000kW未満)			40円			15年
水力(200kW未満)			34円			20年
バイオマス(一般木質バイオマス)			24円			20年

世界では風力と太陽光の導入量の比率は約2対1ですが、日本場合は約1対11と、コストが高い。太陽光発電が圧倒的に大きくなっています。

左表・2をご覧いただければ分かるように、FITでは自然エネルギー各種の導入コストの参入コストの参入変化を参考に買い取り価格を決める仕組みになっていますが、太陽光発電以外の参考事例となる新規導入があまりに少なく、価格の見直しが現状です。

再生可能エネルギー推進の流れは止められない。

日本の屋根に広がった発電パネルは大きな社会資産です。これまで通り、電力会社への売電ができるようにして、混乱なく発電が継続されなければ、再生可能エネルギーによる地球温暖化に対するアプローチは水泡に帰してしまいます。

買い取り価格がカギになりますが、識者の意見では「平均的な発電コストで買い取るのが良

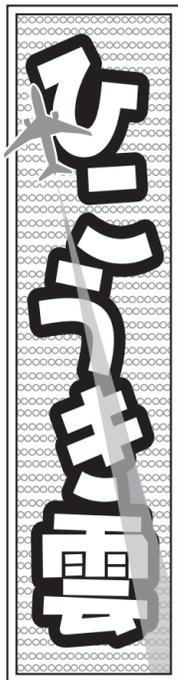
ZEHの推進は国にとって重要なことだ。

ZEHの推進を選択したからには、太陽光発電の伸びを止めないことが最も重要です。工業・産業用電力と家庭用電力を分離して、家庭用電力は太陽光発電、産業用は既存の原子力や風力を始めとする、その他の自然エネルギーという様に産業用と家庭用電力を明確に分けて考える必要があるのかも知れません。少なくともEV自動車燃料と家庭用の太陽光発電には継続的な補償策が必要ですが、日本のガラパゴスから新しい価値が生まれるかも知れません。

太陽光発電契約満了「2019年問題」

「2009年に開始された太陽光発電高値買い取り制度が2年後から満了。」

売電価格の減少が続いている中で、政府はZEHを推進しているが、その真意は?



発行所 株式会社 松下孝建設
 発行人 松下孝行
 編集責任 齋藤恭誠

■本社
 〒891-0108
 鹿児島市中山1丁目14-29
 TEL 099-267-7594
 ☎ 0120-079-089



太陽光発電設備の継続が可能な買い取りシステム

2年後に満了を迎える太陽光発電を搭載した建て主の反応をネットで調べて見ると、多くの建て主が不安感を持っているようです。太陽光発電の契約満期の「2019年問題」は日本の自然エネルギー政策の一つの節目になります。せっかく増えた太陽光発電を着実に伸ばし、太陽光発電以外の再生可能エネルギーを増やすためにも、買い取り契約終了後も太陽光発電の継続が可能な買い取りが必要ですが、現状ではインバーター等の主要な設備の交換が必要となる10年後に、太陽光発電を止める方も出るのはないかと危惧されています。実際に太陽光発電設置費用の残債が200万円以上もあり、買い取りがストップした場合、設備更新を諦めている方も多くいます。前月号の「省エネ基準」に対する「既存不適格」のように、ZEHを勧めていながら、太陽光発電の継続が出来なくて中止する方がいるとすると、なんのためのZEH推進なのか分からなくなります。

い」という意見もあるようですが、電力の卸し市場の価格をみると、その価格は10円程度です。この価格で太陽光発電の継続が考えられるのかどうか? 発電を継続する、という気持ちにさせる価格設定が必要ですが、政府は原子力発電の継続推進を考えているようですが、既存設備を耐用年数まで使用するのには容認されるとしても、新規の原子力発電設備はかなり難しくなっています。原子力発電に掛かる設置・廃棄の莫大な費用を考えたら、太陽光発電の補助金は微々たるものです。現在は太陽光発電を高値で買い取る費用は電気料金全体に上乗せされていますが、2030年以降は、全ての新築住宅にZEHが求められます。売電は無くなっても自分の住宅で自己消費できる電力と自動車燃料に消費できる電力の自立を可能にすべきです。将来は蓄電池や燃料電池などと併用できる、売電に頼らない常識的な太陽光発電の設置が重要になります。

HERT20 実証モデル 中山展示場Ⅲ 9月30日(土)オープン



中山展示場ⅢはHEAT20の断熱性能G2、7地域基準で建てられ、屋根形状はパラペットの四角形状です。2020年の「省エネルギー基準」の義務化に対応する高性能住宅です。現在の省エネルギー基準と比較すると約2倍弱の断熱性能があります。これから始まる住宅性能高効率化に先鞭を付ける画期的な展示場です。季節の移り変わりに是非、この展示場をお尋ね下さい。寒さや暑さを感じる事なく、いつでも快適な爽やかな風を感じて頂けるはず。尚、展示場Ⅲ・Ⅴでは、ISO(国際標準)のPMVの測定で、快適性を測定して住宅の快適性を各来場の皆様に体感していただく予定です。皆様のご来場を心からお待ち申し上げております。

HERT20 実証モデル 中山展示場Ⅴ 9月30日(土)オープン



中山展示場ⅤはHEAT20の断熱性能G2、5・6地域基準で建てられ、屋根形状は三角形状です。2020年までには松下孝建設が建てる住宅の半数がZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)になります。その為にHEAT20のG2基準で有りながら鹿児島市の7地域ではなく、5・6地域にまたがる高断熱性能に設定しています。これは住宅の性能を上げるにより、太陽光発電システムの搭載を制限出来ること、暖冷房エネルギーを抑えて暖冷房コストを削減するためです。これから最も重要になるのは、エネルギーコストの削減です。住宅がエネルギーを創り出す時代の魁となる展示場です。最先端の展示場を是非、皆様で体感して下さい。

ハイブリッド・エコ・ハートQ 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」 加世田展示場 公開中!



加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された新型暖冷房空調システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働する予定です。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思えます。この展示場で新しい松下孝建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお出かけください。心からお待ち申し上げます。

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013大賞仕様住宅 川内展示場 公開中!



ハイブリッド・エコ・ハートQ「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」 中山展示場 公開中!



本展示場は【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013】大賞受賞工法の展示場です。エアコン1台程度で冬も夏も快適な暖冷房を可能とした省エネルギー、超高性能住宅です。本展示場は無事売却の運びとなりました。多数のご応募頂き有難うございました。現在、展示公開は継続しておりますので、是非ご覧ください。お待ちしております。

既成の発想を超えたデザインと住宅性能「粋」の家。毎日の暮らしを笑顔にする「らしさ」にあふれた住まい。ライフスタイルに合わせた多彩な暮らしを支えるのは、オリジナル工法「ハイブリッド・エコ・ハートQ」。省エネルギーで家全体が涼しく、温度差の少ない快適な空間を実現。先進の換気システムにより、新鮮で清潔な空気が室内を包み込みます。シンプルでモダンな外観は、重厚さと気品を纏って街に佇み、窓の向こうでは、庭先の緑が風にそよぎます。光をとりこむ開放的なリビングは、家族が集うひだまりの空間。言葉では表せない感動と満足が、手の届く価格で我が家に。暮らしの「粋」をぜひご体感下さい。

□住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎ 0120-079-089